

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	支援の必要な子どもたちのための働く機会を醸成する事業
事業主体 (連絡先)	岩村田本町商店街振興組合 0267-54-8339
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,235,600 円 (うち支援金: 1,788,000 円)

### 事業内容

支援の必要な子どもたちを対象に以下の講座を実施

- 1、学習支援の必要な小中学生向けの「基礎学力講座」  
(小中学生)
- 2、支援の必要な子どもたちのための  
「スキルアップ講座」
  - ①社会へ出るための「ビジネスマナー講座」
  - ②ビジネスに使用するパソコン講座
- 3、商店街の小規模企業や商店と連携したインターンシップ講座

上記の講座を受講しながら、就業の場を獲得していく



【農園での就業体験】

### 【目標・ねらい】

- ①支援の必要な子どもたちに「自信」を持ってもらうこと
- ②特有の講座を受講してもらいながら就業の場の獲得を実現する事

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

事業の目的は、支援の必要な子どもたちが、どのように社会へ出られるようにするか。その手段として、子どもたちが学びの中から自信をつけることと、実際のインターンシップの中で商店(企業)の人たちと関わり合い、関わる自信を持つことであった。今回、一昨年から本事業の講座を受講してきた子どもが、本事業での一連の講座を受講した後、そのインターンシップの成果により就職が実現。また、支援の必要な子のために協力してくれる企業も年々増加してきたことは大きな成果。この流れを毎年継続していくことで、就職の実現につながる形が出来てくる手ごたえを感じることができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

支援の必要な子どもたちに、地域がどれだけ理解を示し、活躍の仕方も含めて、活躍の場をどう作っていいけるか、は地域にとって重要な課題。官民合わせての連携こそ必要な部門である。「地域で子どもを育てる」重要な責務を担っている、商店街としては、今後も同様の取り組みを、行政のご支援を頂きながら関連機関と連携して、継続していきたい。

### ※自己評価【 A 】

【理由】地域の人々にも、支援の必要な子どもたちの力を認めてもらうことができ、インターンシップの場を提供することで就業の場を獲得できていること。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある